

緑で埋めよう 国有林

全日空(本社東京)は二十四日、「『私の青空 羽田空港・天城湯ヶ島の森』植樹活動」(共同通信社・日本空港ビルディング後援)を伊豆市湯ヶ島の国有林で行った。

同社は一月に林野庁と、同地区の約二・三杉の国有林を「法人の森」として造林する契約を締結。四月に第一回活動を行い、三年間で七千本の

伊豆で植樹活動



ヒノキやカエデなどを植樹していく予定。

今回は羽田空港がある東京都大田区の住民と同社社員ら約八十人が参加し、約千二百本のヒノキの苗木を植樹した。大田区の小中学校で児童生徒が育てた苗木も植えられ、脇には「大きなあれ」「青空の向こうから見守っています」などと書かれたメッセージボードが添えられた。

開会式では、伊豆森林管理署の藤田誠三署長が「皆さんの協力で、一本一本の苗木が緑豊かな山に成長していくことを願います」とあいさつし、京都大学フィールド科学教育研究センターの徳地直子助教授が森と水の関係について講義を行った。

東京都の小中学生が育てた苗木を植える参加者＝伊豆市湯ヶ島